



図書館の窓

2012.4

新入生の皆さん、進学された皆さん、おめでとうございます！
もう図書館には行ってみましたか？
夏目漱石の小説「三四郎」(1908年)は、福岡県出身の三四郎が東京帝国大学に入学してからの4ヶ月間を描いた作品ですが、新入生である三四郎の目を見た当時の大学図書館がいきいきと描かれています。
みなさんも、ぜひ図書館へ足を運んでみてください。



三四郎、初めて図書館に入る
—三四郎はじめて図書館にはいることを知った。(中略)
広く、長く、天井が高く、左右に窓のたくさんある建物であった。なかには必要の本を書棚からとりおろして、胸いっぱいひろげて、立ちながら調べている人もある。三四郎はうらやましくなった。
夏目漱石「三四郎」より

附属図書館は、あなたの学習・研究をサポートします！



◀左は現在の本郷キャンパス総合図書館
▼下は関東大震災で倒壊する前の東京帝大図書館内



目録をいく三四郎
三四郎は一年生だから書庫へはいる権利がない。しかたなしに、大きな箱入りの札目録を、こごんで一枚一枚調べてゆくと、いくらかめくってもあとから新しい本の名が出てくる。しまいに肩が痛くなった。
「三四郎」より

▼東京大学附属図書館webサイト画面



東京大学附属図書館
University of Tokyo Library System

- HOME
- 図書館を使う
- 本や雑誌を探す
- 論文を探す
- 情報を探す
- 本やコピーを取り寄せる
- 電子ジャーナル・電子ブックを読む
- 新図書館構想
- > 東京大学にある図書館・室一覧
- > 講習会のお知らせ
- > 電子化コレクション
- > お問い合わせ先
- > 附属図書館の紹介
- > Link
- > Staff

Now 現在は「札目録」ではなく、**OPAC(オーパック)**で本の所在を調べます。全学の蔵書数は約900万冊で、大学図書館では国内最大です。

三四郎、図書館で調べものをする
—その晩取って返して、図書館でロマンチック・アイロニーという句を調べてみたら、ドイツのシュレーゲルが唱えだした言葉で、(中略)三四郎はようやく安心して、下宿へ帰って、すぐ寝た。
「三四郎」より

本を借りてみた三四郎
—三四郎はこういうふうにして毎日本をハ、九冊ずつは必ず借りた。もっともたまにはすこし読んだのもある。三四郎が驚いたのは、どんな本を借りても、きつとだれか一度は目を通してという事実を発見した時であった。それは書中ここかしこに見える鉛筆のあとでたしかである。
「三四郎」より

開館時間や貸出し限度冊数などは、学内にある図書館・室それぞれに異なります。利用案内で確認しましょう。入館するには**学生証**が必要です。忘れずに持って来てください。

図書館の本への書き込みは禁止！

Now 調べ方に迷ったら図書館のカウンターに相談しましょう。Webを通じて東大附属図書館に質問できる**ASKサービス**もあります。

利用説明会にご参加ください!

東京大学には駒場図書館・総合図書館・柏図書館という各キャンパスの拠点図書館に加えて、32箇所の部局図書館・室があり、それぞれに役割や使い方が異なります。各図書館・室で開催される利用説明会に参加して、高校の図書館や公共図書館とは違う、大学図書館ならではの機能や利用方法を知っておこう。

駒場キャンパス1年生はこれ!

駒場図書館ガイダンス

ようこそ駒場図書館へ!

新一年生を対象とした、駒場図書館の利用方法や、図書館サービスを知るためのガイダンスを開催します。これからの学習・レポート作成等に役立つ図書館利用の第1ステップとして受講ください。

詳細は以下のサイトや館内ポスターをご覧ください。

[URL] <http://lib.c.u-tokyo.ac.jp/news/0236>

- 開催日 4月13日(金) 14:50~16:20
- 4月16日(月) 10:40~12:10
- 4月18日(水) 13:00~14:30
- 4月23日(月) 13:00~14:30
- 5月7日(月) 10:40~12:10



●お問い合わせ先: 駒場図書館 情報サービス係
電話: 03-5454-6093 Mail: cill@lib.c.u-tokyo.ac.jp

各学部・研究所の図書館なら

各図書館・室ごとに、進入学ガイダンスや授業の中で利用案内や図書館・室ツアーを行っています。詳しくは、各学部・専攻や各図書館・室の案内をご覧ください。

本郷キャンパスに進学したら

総合図書館オリエンテーション

総合図書館の使い方や資料の調べ方をご案内します。

各回、OPAC入門30分、利用案内30分、書庫案内30分です。1コマ30分だけのご参加でもOK。

詳細は以下のサイトをご覧ください。

[URL] <http://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/gacos/training.html>

柏キャンパスに進学したら

柏図書館ライブラリーツアー

館内を歩きながら柏図書館の使い方やサービスをご案内します。通常は入ることができない東大で唯一の自動化書庫の中もご覧いただけます。

詳細は以下のサイトや館内ポスターをご覧ください。

[URL] <http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/kashiwa/>

- 開催日 4月16日(月) ~ 4月27日(金)の平日
時間: 15:00~16:00

※研究室などグループ単位でのツアーをご希望の場合はご相談ください。上記日程以外でも承ります。

●お問い合わせ先: 柏図書館 情報サービス係
電話: 04-7136-4224
Mail: kashiwar@lib.u-tokyo.ac.jp

Academic Commons Project Report

Academic Commons Projectとは、
本郷キャンパスの新図書館構想を推進するために
総合図書館で開催するイベント・シリーズで、
2011年秋から始まった新しい試みです。
皆さんもぜひご参加下さい。

2012年1月13日
総合図書館で初めての
ビブリオバトルが
開催されました

30人程が集まったカジュアルな雰囲気の中で、専攻も学年も異なる5人の東大生がバトルに挑み、通りすがりの人も足を止めて見守るほど熱いプレゼンが披露されました。今回は学際情報学府の村上遥さんが紹介したシーナ・アイエンガー(S. Iyengar)著『選択の科学』が観客の支持を最も多く集め、チャンプ本に決定。村上さんには古田元夫館長より記念品が贈呈されました(写真)。おめでとうございます!



■このバトルで紹介された他の本は…
*太宰治『人間失格』 *R.J. コーレンバーグ 他『機能分析心理療法』
*三島由紀夫『美しい星』 *シモーヌ・ヴェーユ『重力と恩寵』
いずれも、附属図書館で所蔵しています。

2012年2月23日
総合図書館ブックトーク -2-
「一冊のトルコ語の古本から
—ユーラシアをめぐる人と本」
小松久男 教授(大学院人文社会系研究科)

総合図書館の閉館日に講師として小松久男教授をお迎えし、第2回目のブックトークが開催されました。『イスラーム世界: 日本におけるイスラームの普及』という本をきっかけに著者イブラヒムの足跡を辿りながら、時折小松教授の研究生生活の様子も織り交ぜつつ進行してゆきました。1909年にイブラヒムは東京帝国大学図書館を訪れており、100年の時を経た同じ場所で彼と彼を取り巻く書物の話に耳を傾けるのはとても貴重なひとときでした。後半では参加者との質疑応答を通じて、彼の更なるエピソードが紹介され、人となりや当時の日本をいっそう伺い知ることができました。今後も様々なイベントを開催する予定です。次回をお楽しみに!



PDF版: <http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/koho/kanpo/> 附属図書館ホームページ: <http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/>

図書館の窓 Vol.51 No.2 (通号446号) 2012年3月31日発行 発行人: 田中成直 編集: 附属図書館広報委員会
東京大学附属図書館発行 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 電話03(5841)2612 E-mail kikaku@lib.u-tokyo.ac.jp